

平成 26 年度定期大会のご案内とプログラム

今年度の定期大会は、仙台市内の東北大学片平キャンパスを会場に、東北地理学会・地理情報システム学会東北支部・東北大学大学院情報科学研究科との共催、仙台市中学校社会科研究会の後援により開催されます。初日の8月6日午後には、大会初の試みとして4つのチュートリアル開催を予定しています。7日・8日には、通常の日頭・ポスター発表、地図・図書の展示はもちろん、東北大学ゆかりの「田山利三郎博士」に関する特別セッション、「防災教育のための地図教材」に関するワークショップ、「東日本大震災と復興」に関するシンポジウムなどの企画が目白押しです。そして今大会は、ちょうど「仙台七夕まつり」の開催期間とも重なっておりますので、華やぐ仙台的の街中でひととき盛大な大会になるものと期待しております。是非とも多くの方々にご参加いただきたく、お待ちしております。

開催期日

平成 26 年 8 月 6 日 (水) 13:00～17:30, 7 日 (木) 10:00～19:30, 8 日 (金) 10:00～17:00, 9 日 (土) 巡検

会場および会場へのアクセス

会場 東北大学片平キャンパス (〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1-1)

片平さくらホール・エクステンション教育研究棟 6 階講義室 A ほか

アクセス <会場まで徒歩の場合>

仙台駅西口より徒歩 15 分程度 (下記地図をご参照下さい)



<会場までバスを使用する場合>

仙台駅前 11 番のりばから「霊屋橋・動物公園経由、緑ヶ丘三丁目行」または「霊屋橋・動物公園・日赤病院経由、八木山南団地行」、もしくは 12 番のりばから「霊屋橋・動物公園・西の平経由、長町南駅・長町(営)行」で、最寄りバス停「東北大正門前」まで約 10 分

なお、東北大学片平キャンパスの案内

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/katahira/index.html>

もしくは、東北大学片平さくらホールの案内

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/sakura/newpage1.html>

もご参照ください。

大会参加費

普通会員・特別会員団体構成員：2,000 円 学生会員：1,000 円

非会員：3,000 円

※東北地理学会、東北大学大学院、GIS 学会、仙台市中学校社会科研究会の会員・学生の方は上記の普通会員・学生会員と同じ金額です。

※参加費には発表論文・資料集代も含まれます。定期大会に参加されず、発表論文・資料集の購入を希望される会員には、一冊 700 円 (送料込) で頒布します。

※地図・図書展示のみの見学は無料です。

※6 日のチュートリアルへの参加も原則無料です (ただし、資料代等の実費を頂戴する場合があります)。

※懇親会費は 5,000 円程度の予定 (あらためて学会ホームページもしくは大会受付にてご案内します)。

その他・詳細についてのお問い合わせ先

学会事務局 〒153-8522 東京都目黒区青葉台 4-9-6 一般財団法人日本地図センター内

日本地図学会事務局 電話:03-3485-5410 Fax:03-3485-5593

E-mail:gakkai@jmc.or.jp ホームページ:<http://www.jmc.or.jp/gakkai/>

プログラム

第1日 8月6日（水）13時00分～17時30分

時間	題目・氏名 等
13:00～14:00	《チュートリアル》13時00分～17時30分 片平さくらホール2階会議室 講演と討論：「仙台市の中等教育における地図製作実習の意義」（仮題）（講師：仙台市中学校社会科学研究会から） 《休憩 10分》
14:10～15:10	講演：「国土地理院の地図の最新動向」（仮題）（講師：国土地理院から） 《休憩 10分》
15:20～16:20	講演：「Google のクラウドサービスを教育、防災、研究分野で応用」（講師：丸山智康） 《休憩 10分》
16:30～17:30	講演：「地図に表現された地名－「危険地名」をどう考えるか」（講師：今尾恵介）

地図・図書展示時間：13時00分～16時30分

第2日 8月7日(木) 10時00分～19時30分

*は登壇予定者

時間	題目・氏名 等
10:00～10:15	<p>《口頭発表1》10時00分～10時45分 片平さくらホール2階会議室</p> <p>0-1 大学生の地図利用と観光地認知の実態 落合康浩（日本大学）</p>
10:15～10:30	<p>0-2 米国主要地理学教室における地理地図学の成立と展開 鈴木厚志（立正大学）</p>
10:30～10:45	<p>0-3 認知地図の異方性が空間行動に与える影響 新垣紀子（成城大学）</p>
10:45～11:00	<p>《口頭発表2》10時45分～11時30分 片平さくらホール2階会議室</p> <p>0-4 「水路通報」にみる海図の情報更改について—東日本大震災関連— 伊藤 等（日本大学）</p>
11:00～11:15	<p>0-5 「地理院地図3D」の構築 大木章一・岡安里津*（国土地理院）</p>
11:15～11:30	<p>0-6 「地形のヒミツが見えてくる 体感! 東京凸凹地図」について 佐藤 慧・鈴木敬子・石川 剛（株式会社東京地図研究社）</p>
11:30～	<p>《ポスター紹介、地図・図書展示のデモ紹介》11時30分～12時00分 片平さくらホール1階会議室</p> <p>P-1 形状複雑度に対応したネットワーク上の点事象集積領域検出 塚原元英*・井上 亮（東北大学）</p> <p>P-2 陸海をつなぐシームレス陰陽図について 酒井拓也*・秋山幸秀（朝日航洋株式会社）</p> <p>P-3 米軍撮影空中写真を用いた建物疎開実施域の判読 —釜石市と半田市の事例— 青山雅史*・小堀 昇・川野浩平（一般財団法人日本地図センター）</p> <p>P-4 季節と気候の学習における小学校区内森林率の影響 中村和彦（東京大学）</p> <p>地図・図書展示：朝日航洋(株)、海上保安庁海洋情報部、(株)グローバルプランニング、 国土地図(株)、国土地理院、(株)古今書院、(株)ゼンリン、地図工房トンビの目、 (一財)地図情報センター、東京カートグラフィック(株)、(株)東京地図研究社、 (一財)日本水路協会、(一財)日本地図センター、北海道地図(株)</p>
12:10～13:00	<p>《昼休み》12時00分～13時00分</p> <p>評議員会 エクステンション教育研究棟6階講義室A</p>

13:00～14:00	<p>《ポスター発表コアタイム、地図・図書展示デモ》13時00分～14時00分 片平さくらホール2階会議室</p>
14:00～16:00	<p>《特別セッション・ワークショップ》14時00分～16時00分 特別セッション 片平さくらホール2階会議室</p> <p>田山利三郎博士の生涯と業績—海図No. 6901「日本近海深淺図」を中心として— 特別セッションの趣旨・田山利三郎博士の略歴と業績 八島邦夫（一般財団法人日本水路協会） 「日本近海深淺図」と「大洋底拡大説」の誕生 中陣隆夫（元東海大学出版会） 明神礁海底火山 および博士ゆかりの海底地形・地名 八島邦夫（一般財団法人日本水路協会） 海洋地質学者・父・田山利三郎の足跡—パラオ共和国・南洋群島・明神礁 海老名卓三郎（公益財団法人仙台微生物研究所）</p>
14:00～16:00	<p>ワークショップ エクステンション教育研究棟6階講義室A</p> <p>防災教育のための地図教材—自分で作るハザードマップ 「震災記憶地図—タブレットで持ち出すハザードマップ」 「Google Earth で作るハザードマップ」 伊藤智章（静岡県立裾野高校）・田村賢哉（NPO 法人伊能社中） ディスカッション</p>
	<p>《休憩》16時00分～16時15分</p>
16:15～16:30	<p>《口頭発表3》16時15分～17時15分 片平さくらホール2階会議室</p> <p>0-7 Walking through Maps between Signboards and Smartphones Si Ruochen*・Arikawa Masatoshi・Lu Min（The University of Tokyo）</p>
16:30～16:45	<p>0-8 Design and Implementation of Geo-interactive Tour Guide Services Featuring Geo-enabled Illustrated Maps Lu Min*・Arikawa Masatoshi（The University of Tokyo）</p>
16:45～17:00	<p>0-9 ルート・スポット再生を統合した地図付きオーディオツアーの提案 鶴岡謙一*, 有川正俊（東京大学）</p>
17:00～17:15	<p>0-10 空間構造を考慮したTwitterの地図化 藤田秀之（電気通信大学）</p>
17:30～19:30	<p>《懇親会》17時30分～19時30分頃 片平北門会館2階「レストラン萩」</p>

地図・図書展示時間：10時00分～16時30分

第3日 8月8日(金) 10時00分～17時00分

*は登壇予定者

時間	題目・氏名 等
	<p>《口頭発表4》10時00分～11時00分 片平さくらホール2階会議室</p> <p>10:00～10:15 0-11 まちづくり・地域学習ツールとしての古地図アプリの可能性：「仙台地図さんぽ」の事例 増田 聡（東北大）、佐藤正実（NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台）</p> <p>10:15～10:30 0-12 保育サービスにおける需給ギャップの地図化：東京都江東区の事例 若林芳樹*・小泉 諒（首都大学東京）・久木元美琴（大分大学）・由井義通（広島大学）</p> <p>10:30～10:45 0-13 「正距図法」の定義と正積・正角等の性質との関係について 政春尋志（国土地理院）</p> <p>10:45～11:00 0-14 クレットマンコレクションと『陸地測量部沿革誌』—『九州全圖』とジュルダンの「横須賀 周辺」の地図— 細井將右</p>
	<p>《口頭発表5》11時00分～12時00分 片平さくらホール2階会議室</p> <p>11:00～11:15 0-15 古地図の歪み抽出による構図のモデリング 佐藤史弥*・Hsiang-Yun Wu・高橋成雄・有川正俊（東京大学）</p> <p>11:15～11:30 0-16 地下鉄路線図のためのポップアップラベル設計 吳湘筠・高橋成雄・有川正俊（東京大学）・林春成（台湾国立交通大学）・顏嗣鈞（国立台 湾大学）</p> <p>11:30～11:45 0-17 国土広域情報の整備及び電子地形図 20 万の試作 吉松直貴・波多江萌・野口真弓*（国土地理院）</p> <p>11:45～12:00 0-18 災害対策基本法に基づく避難所等の地図記号の策定 宇根 寛*・宮地淳夫・登坂 昇・嶋田勝也（国土地理院）</p>
	<p>《昼休み》12時00分～13時00分</p>
	<p>《シンポジウム》「東日本大震災と復興—災害復興に果たした地図の役割—」 13時00分～15時30分 片平さくらホール2階会議室</p> <p>（詳細はホームページもしくは「定期大会発表論文・資料集」にてご案内）</p>
	<p>《休憩》ならびに《地図展優秀賞表彰式》15時30分～16時00分 片平さくらホール2階会議室</p>
	<p>《オープンセッション》16時00分～17時00分 片平さくらホール2階会議室</p> <p>16:00～17:00 (1)「野村正七地図賞への期待」(仮) (2)「ICC2019Tokyo 招致への意義と準備」(仮) 森田 喬（日本地図学会会長・法政大学）</p>

地図・図書展示時間：10時00分～15時00分